



「対話」で広がる世界

副校長 北地 宏充

本校の今年度の教育活動におけるテーマのひとつに、「対話を大切にする」があります。生徒たちは昨年度から「哲学対話」に取り組んでいます。答えのない・一つに決まらない問いに対して、相手を尊重することをベースとした一定のルールの中で「対話」をします。ともに問いを探究する中で、「批判的思考」「創造的思考」「ケア的思考」を育んでいるのですが、同時に互いを尊重することで安心安全に考えを伝え合うトレーニングにもなっています。

さて、この「対話」とは、単純に言葉を調べると、

「相手と互いに言葉を交わし、相手の意見や考えを理解し、自分の考えを伝え合うこと」

といった意味ですが、「議論」や「討論」ではない、この「対話」についてさらに深めようと、先週東京学芸大学准教授の末松裕基先生をお招きして、教員の研修を行いました。

対話とはモノログ（一方通行の独り言）ではなく、ダイアログ（双方向）である。生きた言葉を交わし合う中で、それぞれの考えを受け止めた上で発する言葉には、自分と相手の思いを重ね合わせた新しい思いや考えが秘められている。そして他者という不可思議で未知の存在と関わり合う中で、互いの違いを認めながら、共通の世界を新しく作っていくコミュニケーションである。ということを教えていただきました。

日々の学校生活の中で起きる生徒同士のトラブルは、よく話を聞いてみると、思いついたことをそのまま発言し、それによって相手がどのように感じるのかを想像していなかったがゆえに起こっていることが多いように感じます。相手を想定せず自分の持っている情報や考え・感情を相手にぶつけることは一方通行の行為であり、双方向のコミュニケーションにはなっていません。「人と会話をする」というなにげない行為が、受け取る相手がいるという「対話する」意識を持つことで新たな考え方を手に入れ、自分の気付かなかった世界を広げるきっかけになるかもしれません。

「哲学対話」をはじめとした「対話」体験を重ね、それを日常にも活用することで、「対話」による他者とのコミュニケーションと、自身の世界の広がり（自己変容）を楽しんでくれることを願っています。

我々教師も、「授業の中での対話」について考えを深めています。一方通行の情報の伝達ではなく、相手を意識した良質なボールを投げ続けることで、生徒のみなさんからの素晴らしい返球を引き出し、深い対話の中からみなさんの世界の見方が広がる授業をしていこうと日々取り組んでいます。

保護者の皆様もぜひお子様と「対話」し、お子様の生み出す世界を受け止めてさらなる成長への一助となっていいただければと思います。

そして保護者と教員、保護者同士…と、大人もたくさん対話していきたいですね。

体育大会(5/20・火)へのご参観、ありがとうございました！

5月17日(土)に予定していた体育大会は、雨により20日(火)に延期になりました。今年度はより多くの保護者の皆様に見ていただけるよう、保護者席を西側にも用意していただけたに、平日開催となるとあまり多くの方に見ていただけないのでは…と残念に思っていたのですが、当日は500名を超える保護者の皆様にご参観いただきました。ありがとうございました。

新しい取組についても9割以上の方が肯定的なご意見でした。一番多かったのが、「運動の苦手な我が子が、初めて練習から楽しそうに参加しててありがたかったです」というような内容でした。また、「さらに中学生らしい玉入れに進化させてください」というご意見もありました。今後も様々な挑戦を続けていきます。ありがとうございました。



美術部制作のスローガン

♡こころのアンケートが新しくなりました

毎月実施している「生活アンケート」を、今月からchromebookを活用した「こころのアンケート」としてリニューアルしました。いじめ・いやがらせに関する悩み以外にも幅広く入力することができます。6月2日に実施したアンケートでは、生徒たちは様々な悩みを打ち明けてくれました。全て面談し、場合によってはご家庭とも連携しています。

◆宿題の出し方を見直しました◆

これまで六中では、定期テスト前にワーク等の課題を示し、テスト後に提出させていましたが、評価方法を見直し、公平性や生徒の負担も考慮して、「提出」から「勉強しておく」といページというように提示の仕方を変更しました。生徒の皆さんは、**自分に合った家庭学習を充実させてください。**※授業で取り組んでいる課題の続きについては、場合によって宿題になることもあります。

進路説明会・高校の先生の話聞く会

今月は立て続けに進路に関わるお話がありました。高校(都立若葉総合高校・私立明星高校)の先生のお話は、進路を考える3年生の、一つの基準になりました。両先生とも「数字だけでなく様々な角度から高校を知り、しっかり選んでほしい」とおっしゃっていました。



◆CBT(Computer Based Testing)導入◆

今年度、国の全国学力調査(理科)で導入されたCBTを、この期末考査の美術科のテストで取り入れます。パソコンの不具合が生じた際にはペーパーに切り替えられるよう準備して行います。採点ミスを防ぎ、採点時間の短縮にもなります。軌道に乗れば、実技教科を中心に拡大していきます。

あくろす・ロバートの英会話教室

昨年度に引き続き、国領駅前の「あくろす」から外国人講師のロバートさんが来て、MORI ルームでミニ英会話教室を開いてくれました。(6/9~12・昼休み)

今後も年間を通して開催する予定です。是非仲良くなって、楽しく会話をしてみてください！



6月の予定

- 2日(月) 安全指導 こころのアンケート
- 4日(水) 眼科検診
- 5日(木) 耳鼻科検診 避難訓練(不審者対応)
- 6日(金) 歯科検診 進路説明会
- 9日(月) ロバートの英会話教室(3年)
高校の先生の話聞く会(3年)
- 10日(火) 耳鼻科検診
ロバートの英会話教室(2年)
- 12日(木) ロバートの英会話教室(1年)
- 17日(火) 期末考査 ~19日(木)
- 20日(金) 復習確認テスト(3年)
- 23日(月) 生徒朝礼 伝統文化・芸能体験(2年)
デフリンピックプログラム(1年)
- 26日(木) グリーンハロープロジェクト
- 27日(金) セーフティ教室
- 28日(土) 学校公開

生徒の活躍の様子

□美術部

歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール
佳作 □□□□(2-4) □□□□(3-3)

□女子ソフトテニス部

第9ブロックソフトテニス選手権大会
女子団体戦 第3位 (都大会進出)